

令和3年度
景況調査報告

令和4年3月

令和3年度景況調査報告

・調査概要

(1) 調査期間	令和4年2月4日(金)から令和4年3月22日(火)
(2) 調査方法	訪問等によるアンケート調査
(3) 調査対象	市内103事業所 (工業21社、建設業30社、飲食・卸小売業25社、サービス業27社)
(4) 調査項目	令和3年(実績)、令和4年(見込み)決算期の業況・売上などの状況判断

産業別判断指数

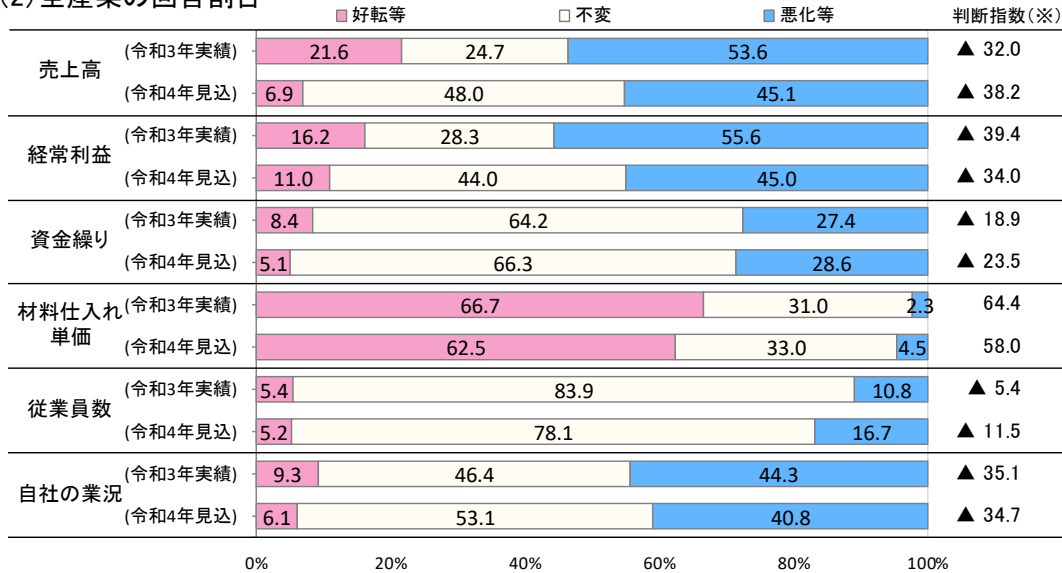
(1) 令和3年実績及び令和4年見込み(前年比)

	売上 (増加割合—減少割合)		経常利益 (増加割合—減少割合)		資金繰り (好転割合—悪化割合)		仕入れ単価 (上昇割合—低下割合)		従業員 (増加割合—減少割合)		業況 (好転割合—悪化割合)	
	令和3年 実績	令和4年 見込	令和3年 実績	令和4年 見込	令和3年 実績	令和4年 見込	令和3年 実績	令和4年 見込	令和3年 実績	令和4年 見込	令和3年 実績	令和4年 見込
全産業	▲ 32.0	▲ 38.2	▲ 39.4	▲ 34.0	▲ 18.9	▲ 23.5	64.4	58.0	▲ 5.4	▲ 11.5	▲ 35.1	▲ 34.7
工業	▲ 21.4	▲ 56.7	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 17.2	▲ 24.1	69.2	50.0	0.0	▲ 14.8	▲ 24.1	▲ 37.0
建設業	▲ 60.0	▲ 30.0	▲ 75.0	▲ 23.8	▲ 40.0	▲ 28.6	72.2	68.4	▲ 5.6	5.3	▲ 60.0	▲ 33.3
飲食・卸小売業	▲ 12.5	▲ 24.0	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 9.1	▲ 21.7	75.0	72.0	4.3	▲ 12.5	▲ 25.0	▲ 41.7
サービス業	▲ 40.0	▲ 37.0	▲ 36.0	▲ 29.6	▲ 12.5	▲ 20.0	36.8	40.0	▲ 20.8	▲ 19.2	▲ 37.5	▲ 26.9

※令和3年実績、令和4年見込みは、前年からの変化方向を示す。

※上記の指数は、各項目についての状況の判断を示す。(プラス「好転」超など)であれば、上向き傾向を表す回答割合が多いことを示し、マイナス(「悪化」超など)であれば、下向き傾向を表す回答割合が多いことを示す。

(2) 全産業の回答割合

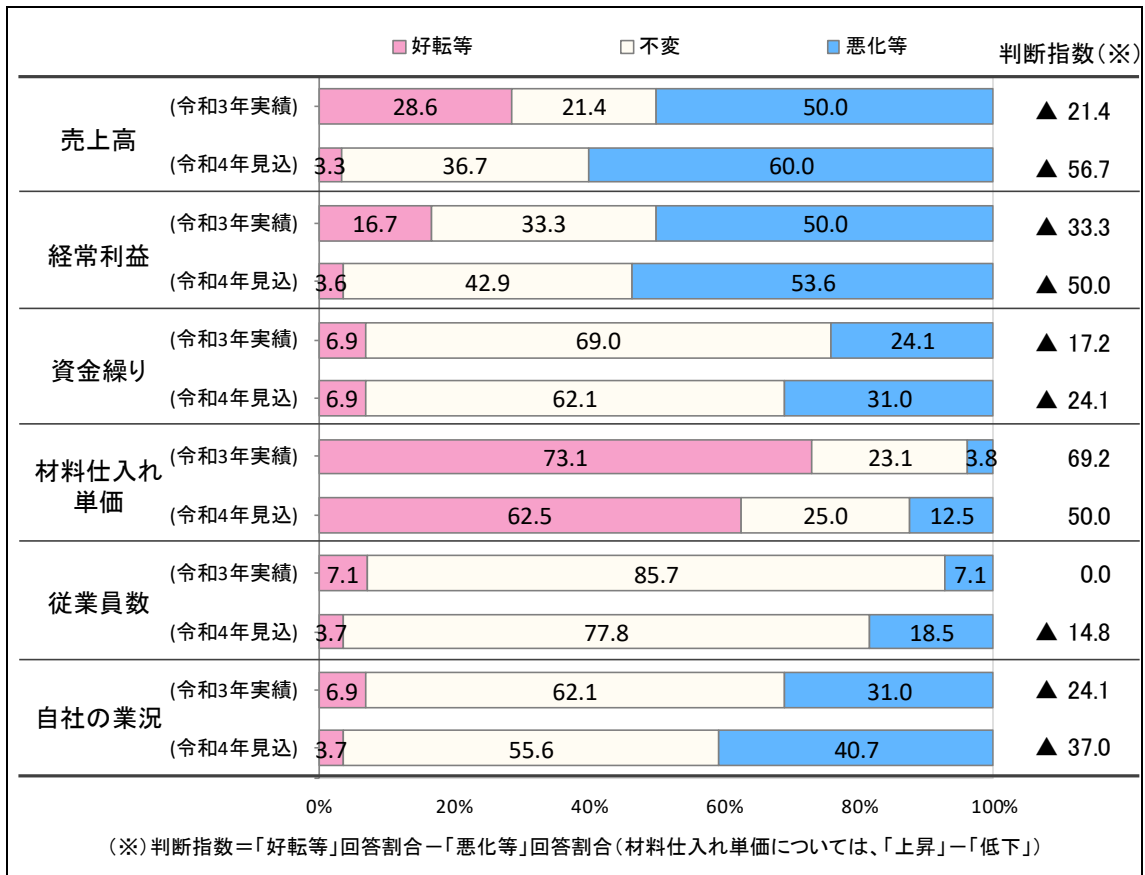


(※) 判断指数 = 「好転等」回答割合 - 「悪化等」回答割合 (材料仕入れ単価については、「上昇」-「低下」)

・結果に対するコメント

- ・市内企業の業況判断指数(前年比)は、令和3年実績は全産業で▲35.1、令和4年見込みでは▲34.7と、「悪化」超幅はほぼ横ばい。
- ・業種別に見ると、全産業の業況が令和3年は「悪化」超となった。さらに令和4年も「悪化」超が続く見通し。特に工業、飲食・卸小売業では「悪化」超幅が拡大する見通し。
- ・項目別に見ると、仕入れ単価が2期連続で大きく「上昇」超となっている。

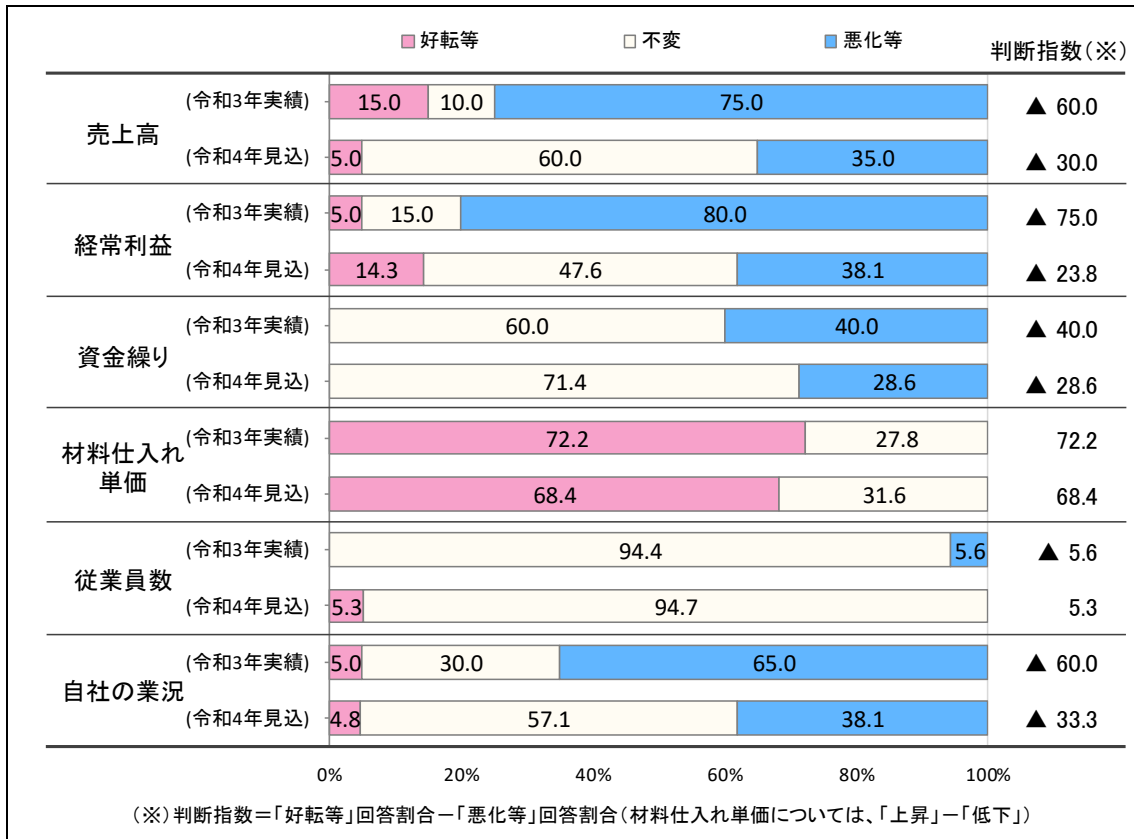
【 工 業 】



・工業の業況判断指数の令和3年実績が▲24.1と「悪化」超、令和4年見込みも▲37.0と2期連続の「悪化」超となる見通し。

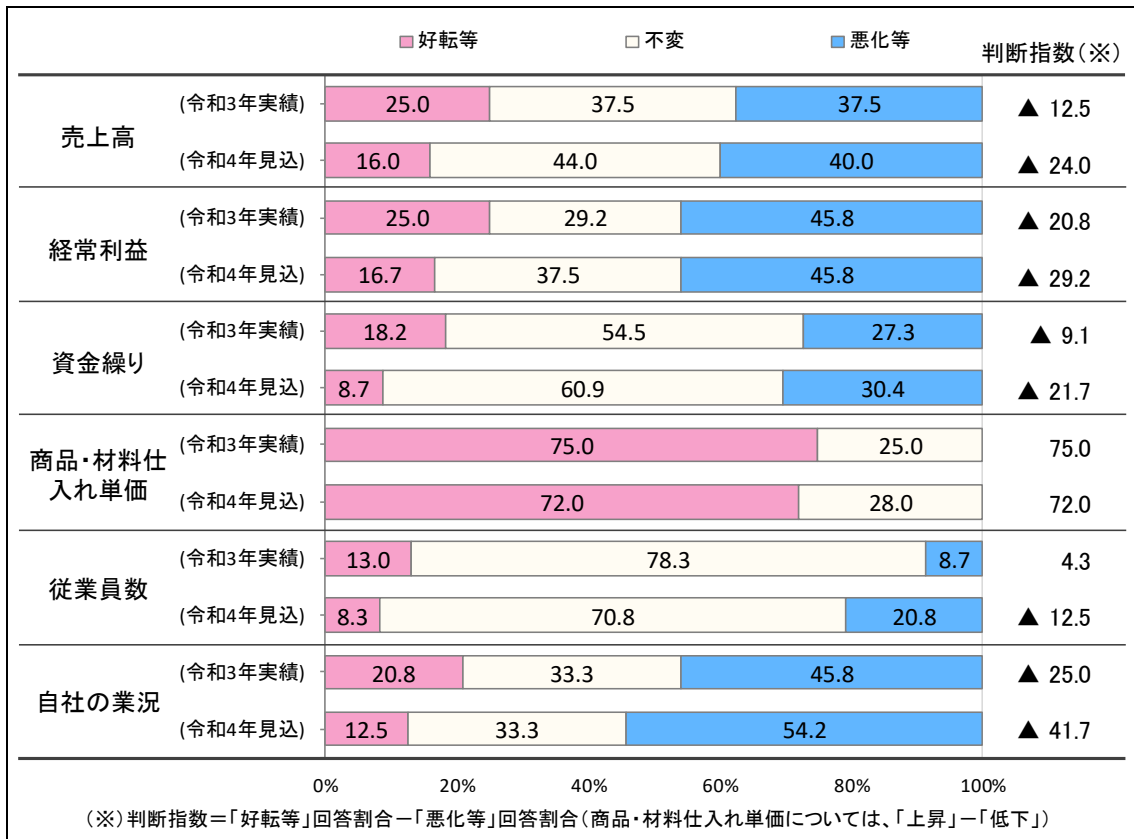
・項目別では、判断指数が売上高、経常利益、資金繰りで令和3年、令和4年見込みともマイナスとなっており、厳しい状況がうかがえる。特に令和4年見込みでは、売上高、経常利益とも半数の企業が「減少する」と回答している。令和3年の材料仕入れ単価は69.2と大きくプラス、令和4年見込みも50.0だった。仕入れ単価の上昇が続く見通し。

【 建設業 】



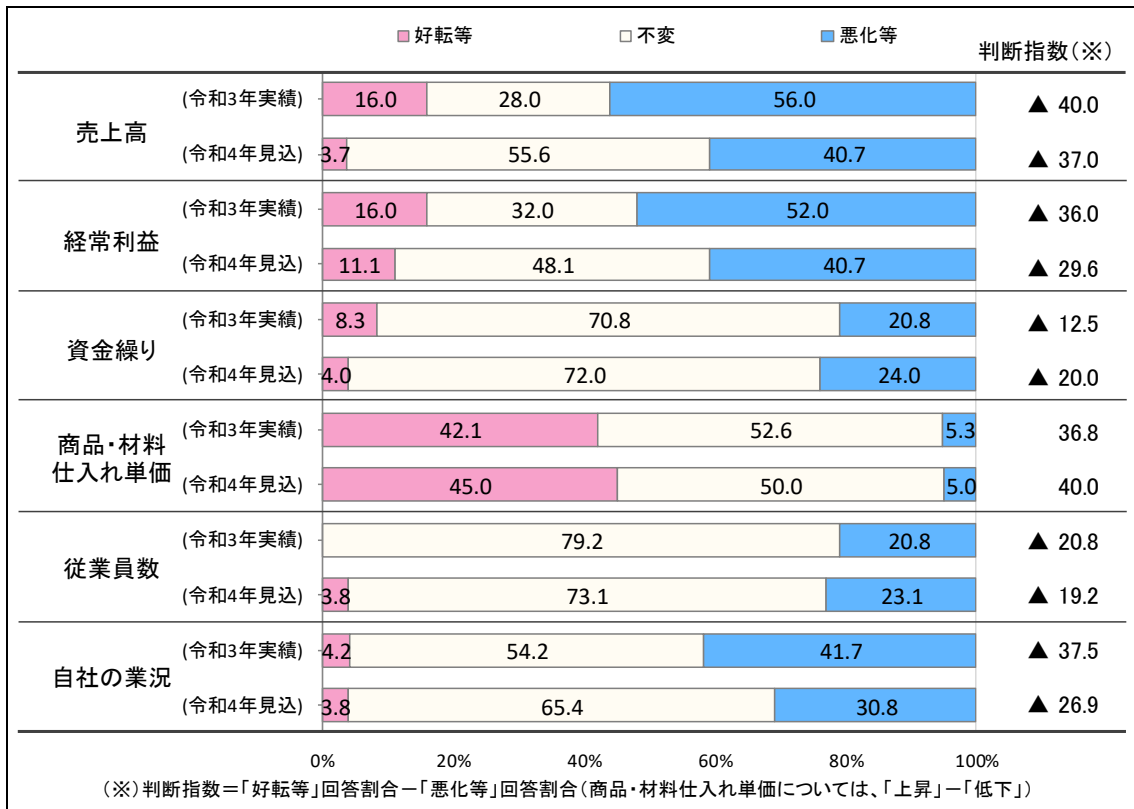
- ・ 建設業の業況判断指数は、令和3年実績で▲60.0と大きく「悪化」超、令和4年見込みは▲33.3と数値は下がるものの「悪化」超が継続する見通し。
- ・ 項目別の判断指数では、売上高、経常利益、資金繰りで、令和3年実績が大きく「悪化」超、令和4年見込みも「悪化」超となっており、厳しい状況がうかがえる。また、材料仕入れ単価は実績・見込みともに大きく「上昇」超となっており、仕入れ単価の上昇が続く見通しであることがわかる。

【 飲食・卸小売業 】



- ・ 飲食・卸小売業の業況判断指数は令和3年実績が▲25.0と「悪化」超、令和4年見込みは▲41.7と「悪化」超幅が拡大する見通し。
- ・ 項目別では売上高、経常利益、資金繰りで、令和3年実績が「悪化」超、令和4年見込みはいずれも「悪化」超幅が拡大しており、見通しも厳しい。仕入れ単価は2年連続で「上昇」超、商品・材料の値上り感を強く実感している様子がうかがえる。従業員数は3年実績では「増加」超だったが、令和4年見込みは「低下」超に転じている。

【 サービス業 】



- ・ サービス業の業況判断指数は令和3年実績が▲37.5、令和4年見込みは▲26.9と「悪化」超幅が縮小するも、厳しい状況は続く見通し。
- ・ 項目別では売上高、経常利益、資金繰りは令和3年実績、令和4年見込みともマイナス。商品・材料仕入れ単価は、令和3年実績、令和4年見込みとも「上昇」超となっている。

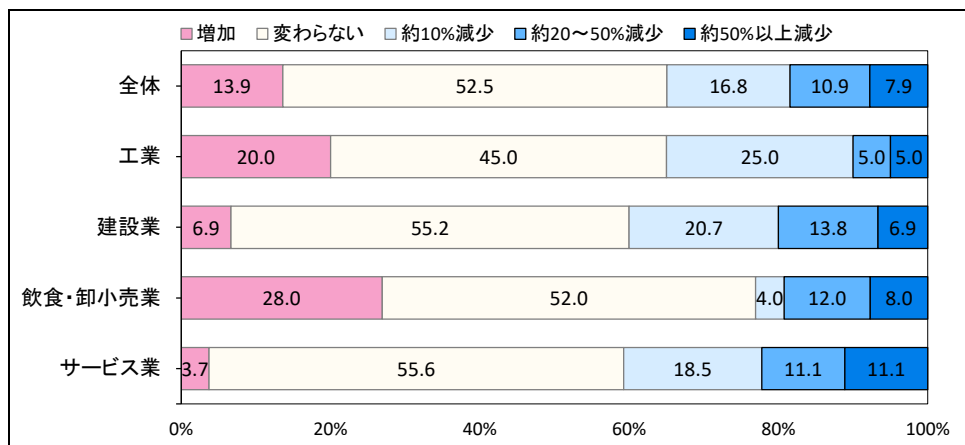
【売上高の推移】

新型コロナウイルスの影響によって多くの企業で売上高の減少が見込まれたため、昨年調査に引き続き、今回調査では、令和3年の売上高実績について減少の程度も尋ねている。

全体では、売上高が「変わらない」が52.5%と最も多く、次いで「約10%減少」が16.8%だった。「約50%以上減少」も7.9%となっており、厳しい情勢がうかがえる。一方で「増加」との回答が13.9%あった。

業種別にみると、先のDI値も低かった建設業やサービス業は、「増加」の回答が小さく、『減少』の回答割合が合わせて4割程度を占めており、特に厳しい状況うかがえる。飲食・卸小売業では「増加」が28.0%となっているものの、「約20～50%減少」と「約50%以上減少」が合わせて20.0%あり、取り扱う商品やサービスによって差が出ていることがうかがえる。

●令和3年売上高の増減(業種別)



	全体	工業	建設業	飲食・卸小売業	サービス業
増加	14	4	2	7	1
変わらない	53	9	16	13	15
約10%減少	17	5	6	1	5
約20～50%減少	11	1	4	3	3
約50%以上減少	8	1	2	2	3
合計	101	20	29	25	27

【新型コロナウイルスの影響について】

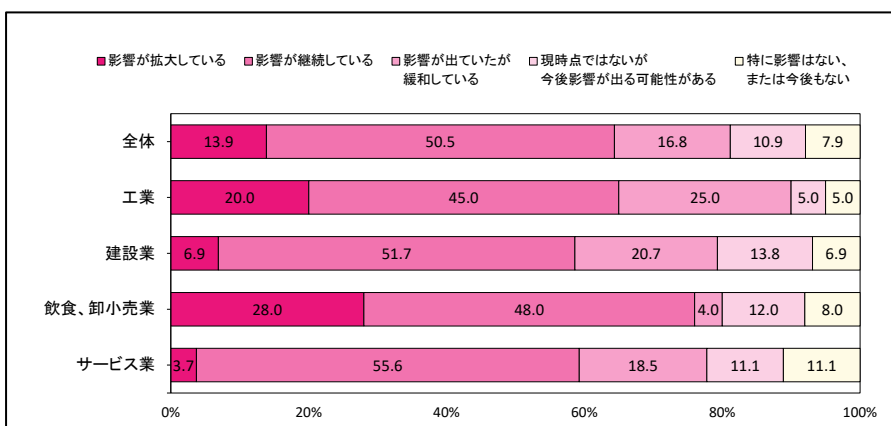
新型コロナウイルスの影響について尋ねたところ、「影響が継続している」が50.5%と最も多かった。「影響が拡大している」が13.9%で、継続・拡大が合わせて6割超を占めている。一方で「影響は出ていたが、緩和している」が16.8%だった。また、「現時点ではないが今後影響が出る可能性がある」が10.9%と、今後は懸念する声もあった。

業種別にみると飲食・卸小売業で「影響が拡大している」「影響が継続している」を合わせた割合が多い傾向にあった。

具体的なマイナスの影響としては「客数の減少」が46.5%と最も多く、「受注の減少」が45.5%、「材料等仕入れ単価の上昇」が44.6%と続いた。

●マイナスの影響について(業種別)

	全体(n=101)		工業(n=20)		建設(n=29)		飲食、卸小売(n=25)		サービス(n=27)		
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	
マイナスの影響	影響が拡大している	14	13.9	4	20.0	2	6.9	7	28.0	1	3.7
	影響が継続している	51	50.5	9	45.0	15	51.7	12	48.0	15	55.6
	影響が出ていたが緩和している	17	16.8	5	25.0	6	20.7	1	4.0	5	18.5
	現時点ではないが今後影響が出る可能性がある	11	10.9	1	5.0	4	13.8	3	12.0	3	11.1
	特に影響はない、または今後もない	8	7.9	1	5.0	2	6.9	2	8.0	3	11.1



●どのようなマイナスの影響が出たか(業種別)

	全体(n=101)		工業(n=20)		建設(n=29)		飲食、卸小売(n=25)		サービス(n=27)		
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	
具体的なマイナスの影響	客数の減少	47	46.5	4	20.0	8	27.6	19	76.0	16	59.3
	受注の減少	46	45.5	19	95.0	15	51.7	2	8.0	10	37.0
	材料等仕入れ単価の上昇	45	44.6	9	45.0	16	55.2	16	64.0	4	14.8
	商品・材料等の納期の遅れ	25	24.8	4	20.0	12	41.4	7	28.0	2	7.4
	感染予防対策のコスト増	21	20.8	3	15.0	5	17.2	6	24.0	7	25.9
	従業員の確保難	14	13.9	2	10.0	5	17.2	4	16.0	3	11.1
	既存商品やサービス等の見直し	5	5.0	1	5.0	1	3.4	3	12.0	0	-
	人員削減を実施・検討中	3	3.0	0	-	0	-	2	8.0	1	3.7
	その他	2	2.0	0	-	1	3.4	1	4.0	0	-
影響はない	4	4.0	1	5.0	0	-	1	4.0	2	7.4	

【国県市の支援策について】

国県市の支援策について、利用済のもの、申請中のもの、利用希望のものを伺ったところ、以下のような回答となった。

いずれの業種も「持続化給付金」が 25.2%と最も多く、次いで「事業復活支援金」、「一時支援金・月次支援金」と続いている。

業種別にみると、製造業では「雇用調整助成金」、小売業では「市の感染防止対策補助金」、「県の感染防止対策協力金」の回答割合が比較的大きい。

●利用済、申請中、利用希望の支援策(業種別)

	全体(n=103)		工業(n=21)		建設(n=30)		飲食・卸小売(n=25)		サービス(n=27)		
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	
支援策	持続化補助金	26	25.2	5	23.8	7	23.3	7	28.0	7	25.9
	事業復活支援金	25	24.3	6	28.6	8	26.7	4	16.0	7	25.9
	一時支援金・月次支援金	22	21.4	2	9.5	9	30.0	4	16.0	7	25.9
	市の感染防止対策補助金	21	20.4	3	14.3	6	20.0	8	32.0	4	14.8
	政府系金融機関等の コロナウイルス感染症特別貸付	17	16.5	3	14.3	5	16.7	4	16.0	5	18.5
	雇用調整助成金	16	15.5	8	38.1	4	13.3	3	12.0	1	3.7
	民間金融機関のセーフティネット保証 4・5号付融資	12	11.7	1	4.8	6	20.0	3	12.0	2	7.4
	県の感染防止対策協力金	10	9.7	-	-	2	6.7	8	32.0	-	-
	県の中小企業者等応援金	6	5.8	-	-	2	6.7	2	8.0	2	7.4
	ものづくり補助金	5	4.9	4	19.0	1	3.3	-	-	-	-
	再構築補助金	3	2.9	1	4.8	1	3.3	-	-	1	3.7

景況調査データ

単位:件

		令和3年実績						令和4年見通し					
		売上	経常利益	資金繰り	仕入れ単価	従業員数	業況	売上	経常利益	資金繰り	仕入れ単価	従業員数	業況
全産業	好転・増加	21	16	8	58	5	9	7	11	5	55	5	6
	不変	24	28	61	27	78	45	49	44	65	29	75	52
	減少・悪化	52	55	26	2	10	43	46	45	28	4	16	40
	合計	97	99	95	87	93	97	102	100	98	88	96	98
工業	好転・増加	8	5	2	19	2	2	1	1	2	15	1	1
	不変	6	10	20	6	24	18	11	12	18	6	21	15
	減少・悪化	14	15	7	1	2	9	18	15	9	3	5	11
	合計	28	30	29	26	28	29	30	28	29	24	27	27
建設業	好転・増加	3	1	0	13	0	1	1	3	0	13	1	1
	不変	2	3	12	5	17	6	12	10	15	6	18	12
	減少・悪化	15	16	8	0	1	13	7	8	6	0	0	8
	合計	20	20	20	18	18	20	20	21	21	19	19	21
飲食・卸小売業	好転・増加	6	6	4	18	3	5	4	4	2	18	2	3
	不変	9	7	12	6	18	8	11	9	14	7	17	8
	減少・悪化	9	11	6	0	2	11	10	11	7	0	5	13
	合計	24	24	22	24	23	24	25	24	23	25	24	24
サービス業	好転・増加	4	4	2	8	0	1	1	3	1	9	1	1
	不変	7	8	17	10	19	13	15	13	18	10	19	17
	減少・悪化	14	13	5	1	5	10	11	11	6	1	6	8
	合計	25	25	24	19	24	24	27	27	25	20	26	26

単位: %、判断指数はポイント

		令和3年実績						令和4年見通し					
		売上	経常利益	資金繰り	仕入れ単価	従業員数	業況	売上	経常利益	資金繰り	仕入れ単価	従業員数	業況
全産業	好転・増加	21.6	16.2	8.4	66.7	5.4	9.3	6.9	11.0	5.1	62.5	5.2	6.1
	不変	24.7	28.3	64.2	31.0	83.9	46.4	48.0	44.0	66.3	33.0	78.1	53.1
	減少・悪化	53.6	55.6	27.4	2.3	10.8	44.3	45.1	45.0	28.6	4.5	16.7	40.8
	判断指数	▲ 32.0	▲ 39.4	▲ 18.9	64.4	▲ 5.4	▲ 35.1	▲ 38.2	▲ 34.0	▲ 23.5	58.0	▲ 11.5	▲ 34.7
工業	好転・増加	28.6	16.7	6.9	73.1	7.1	6.9	3.3	3.6	6.9	62.5	3.7	3.7
	不変	21.4	33.3	69.0	23.1	85.7	62.1	36.7	42.9	62.1	25.0	77.8	55.6
	減少・悪化	50.0	50.0	24.1	3.8	7.1	31.0	60.0	53.6	31.0	12.5	18.5	40.7
	判断指数	▲ 21.4	▲ 33.3	▲ 17.2	69.2	0.0	▲ 24.1	▲ 56.7	▲ 50.0	▲ 24.1	50.0	▲ 14.8	▲ 37.0
建設業	好転・増加	15.0	5.0	0.0	72.2	0.0	5.0	5.0	14.3	0.0	68.4	5.3	4.8
	不変	10.0	15.0	60.0	27.8	94.4	30.0	60.0	47.6	71.4	31.6	94.7	57.1
	減少・悪化	75.0	80.0	40.0	0.0	5.6	65.0	35.0	38.1	28.6	0.0	0.0	38.1
	判断指数	▲ 60.0	▲ 75.0	▲ 40.0	72.2	▲ 5.6	▲ 60.0	▲ 30.0	▲ 23.8	▲ 28.6	68.4	5.3	▲ 33.3
飲食・卸小売業	好転・増加	25.0	25.0	18.2	75.0	13.0	20.8	16.0	16.7	8.7	72.0	8.3	12.5
	不変	37.5	29.2	54.5	25.0	78.3	33.3	44.0	37.5	60.9	28.0	70.8	33.3
	減少・悪化	37.5	45.8	27.3	0.0	8.7	45.8	40.0	45.8	30.4	0.0	20.8	54.2
	判断指数	▲ 12.5	▲ 20.8	▲ 9.1	75.0	4.3	▲ 25.0	▲ 24.0	▲ 29.2	▲ 21.7	72.0	▲ 12.5	▲ 41.7
サービス業	好転・増加	16.0	16.0	8.3	42.1	0.0	4.2	3.7	11.1	4.0	45.0	3.8	3.8
	不変	28.0	32.0	70.8	52.6	79.2	54.2	55.6	48.1	72.0	50.0	73.1	65.4
	減少・悪化	56.0	52.0	20.8	5.3	20.8	41.7	40.7	40.7	24.0	5.0	23.1	30.8
	判断指数	▲ 40.0	▲ 36.0	▲ 12.5	36.8	▲ 20.8	▲ 37.5	▲ 37.0	▲ 29.6	▲ 20.0	40.0	▲ 19.2	▲ 26.9